



聖路加

# チャペル ニュース

2017年11月26日 No. 248



〒104-0044

東京都中央区明石町10-1  
聖路加国際大学礼拝堂

TEL 5550-2416 (日曜)

TEL 5550-7043 (平日)

FAX 5550-7070

E-mail: chapel@luke.ac.jp

URL: [http://nssk.org/  
tokyo/church/luke](http://nssk.org/tokyo/church/luke)



クリスマスイブ礼拝

## 聖書に学ぶ会

- 第1・第2日曜日 午後12時30分 聖書を読む会
  - 第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書
  - 第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書
- 場所…旧館2階 プライベートルーム／ロビー  
日程変更の場合があるため事前にご確認ください。

## 巻頭メッセージ

# 神様はどういう方か

## 礼拝案内

### 月・火・木・金曜日

■ 午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

### 水曜日

■ 午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

### 日曜日

■ 午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■ 午前10時 日曜学校礼拝 チャペル

■ 午前10時30分 聖餐式・説教 チャペル

■ 午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

チャプレンメッセージ

# 神様はどういう方か

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

神様をどういう方として信じていくかは、私たちが自分の人生を永遠の時間の流れの中で捉えようする時に、決定的な影響を与えるものと思われず。神様を恐れることは、間違っていることではないとしても、どういう恐れ方をするか、ということはとても大切なことでしょう。マタイによる福音書の二五章にあるいわゆる「タラントンのたとえ」では、一タラントン預かった人がこう言っています。「御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントンを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。」(マタイ25:24-25)

神様が、正しさだけを求め、間違ったことを赦さない神様としてしか捉えられない時には、身がすくみ、思うように与えられた使命が果たせなくなつていきます。神様の偉大さに心打たれることは大切ですが、それ以上に大切なことは、私たちが人生を充実して生きていくこと。自分を大切にすることと自分が人生の途上で出会って行く人たちとの関わりを大切にすることは、神様の願っておられることでもあると信じておかないでしようか。預けられたタラントンを、誰にも見られず、誰とも関わらない中で地中に隠しておくことは、神様の喜ばれる方法ではないことを、イエスさまはこのたとえの中で十分に表しておられます。二タラントン、五タラントン預かった人たちは、減つてしまふかもしれないリスクがありつづも、いやむしろ、そういうリスクがあるからこそ、一層それらを用いて、他の人たちとの関わりを豊かにしています。そして何よりも、それをこんなに増やしましたと報告する時に、「御主人様」が喜ぶ姿を思い描いて働いています。それを、共に喜ぶ神様の姿をイエスさまは、このたとえ話を通して示そうとしておられます。

私たちの人生そのものが、預けられたタラントンだとしたら、それをどう過ごしていくか、一緒に喜ぼうとしてくださる神様を思い描いて、どう歩んでいくかを考えながら、出会って行く人たちと共に歩んでいくことこそ、大切なことではないでしょうか。